

独立行政法人日本スポーツ振興センター
令和3年度第2回契約監視委員会審議概要

1 開催日

令和3年5月26日（水）14時00分～16時00分

2 開催場所

本部事務所大会議室2

3 出席委員（敬称略）

委員長 相葉 和良（弁護士）

委員 宮本 和之（公認会計士）

委員 小林 順治（監事）

委員 大橋 玲子（監事）

※外部委員はWeb会議システムにより参加

4 議題

（1）令和3年度調達等合理化計画の策定に関する点検について

（2）2か年度連続一者応札・応募となっている契約案件の事後点検について

（3）その他

5 審議概要

（1）令和3年度調達等合理化計画の策定に関する点検について

担当部署から、令和3年度独立行政法人日本スポーツ振興センター調達等合理化計画（以下「令和3年度調達等合理化計画」という。）の内容について説明を行い、その後、委員による点検を行った。

委員の質問及びそれに対する回答並びに委員の意見のうち、主なものは次のとおりである。

（質問）令和2年度の調達の状況について、対前年度比で競争性のある契約の金額は大幅に減少しているが、競争性のない随意契約の金額はわずかな減少にとどまっている理由は何か。

（回答）確認の上回答させていただく。

（意見）競争性のない随意契約に対してより実効的に対応するためには、現状について詳細な分析を行う必要がある。改めて現状を詳細に分析するとともに、その結果について令和3年度調達等合理化計画の「調達の現状と要因の分析」に記載していただきたい。

（回答）承知した。

（2）2か年度連続一者応札・応募となっている契約案件の事後点検について

令和2年度において一般競争入札を実施した結果、2か年度連続一者応札となった19件

について、内容の点検を行った。

委員の質問及びそれに対する回答並びに委員の意見のうち、主なものは次のとおりである。

① トレーニング映像収録システム等の保守業務委託

② ハイパフォーマンススポーツセンター ネットワーク機器の保守

③ ハイパフォーマンススポーツセンター 風洞実験装置及び天秤装置の整備点検

④ 国立スポーツ科学センター スポーツ科学形態・代謝画像情報解析システム関連機器の保守点検

⑤ 令和3年度 国立スポーツ科学センター 各種研究用システムの保守点検

(質問) 平成30年度以前から一者応札となっている案件が多いが、例えば①の案件の令和2年度の調達に当たって一者応札への対応として行った取組はあるのか。

(回答) 競争加入者が僅少であることが見込まれたため、競争参加資格を1等級下位まで拡大した。

(意見) 委員会の資料に一者応札への対応として行った取組や今後の対応策について記載していただきたい。

(回答) 承知した。

⑥ トレーニング体育館総合支援システムの保守

⑦ 「アスリート育成パスウェイ」ウェブサイトのサーバ手配及び保守運用業務等の委託

⑧ ハイパフォーマンススポーツセンター 一般廃棄物処理業務の委託

⑨ ハイパフォーマンススポーツセンター医療用及び研究用ガスの供給

⑩ ハイパフォーマンススポーツセンター 水処理薬剤の購入(単価契約)

(質問) ⑧、⑨及び⑩については特殊性のある案件ではないと思われるが、一者応札となった原因は何か。

(回答) 現状、原因の特定には至っていない。

(質問) ⑧の公告について、センターの本部事務所における掲示及びホームページへの掲載に加え、別途業界団体向けに業界紙に掲載するなど行ったことはあるか。

(回答) 業界団体に向けて別途公告を行ったことはない。

(意見) ⑨及び⑩については消耗品の調達であり、一般的に考えて複数者応札が可能と思われる。一者応札が続いている理由について説明できるよう、原因を分析していただきたい。

(回答) 承知した。

⑪ 第三者相談・調査制度におけるSNS相談窓口に係る構築及び運用保守業務の委託

⑫ 定期便業務委託

⑬ 令和3年度役職員等の健康診断業務及び産業医業務の委託

⑭ スポーツ振興事業助成関連文書の保管業務

(質問) ⑭について、ひと月当たりの金額が令和2年度において令和元年度と比較して下がっている理由は何か。

(回答) 業務の見直しを行い、令和2年度の調達に当たっては一部削除したためである。

(質問) ⑬について、履行場所（全国に所在）の条件を満たせないことから応札に参加しなかった者がいるとのことであるが、業務を履行可能な者は応札者以外にいるのか。

(回答) 契約依頼課において確認しており、応札者以外にも履行可能な者はいるとのことであった。

(意見) ⑬について、履行場所ごとに調達を分割することを検討してはどうか。

(回答) 承知した。

⑮ パーソナルコンピュータの購入

⑯ 映像分析サポートにおけるパソコン機器等の購入

⑰ 外国雑誌の購入

⑱ 衛生材料（医科）の購入

⑲ 特定業務において年度末に必要となる資金の調達

(質問) ⑰について、調達する書籍は全て電子媒体か。また、応札者以外にも履行可能な者はいるのか。

(回答) 電子媒体である。応札者以外にも履行可能な者は複数いる。

(意見) 過年度においては複数者応札があった⑰及び⑱については、一者応札となった原因を分析の上、次回の調達の際は公告期間を長くするなど、一者応札を改善するための取組を行うこと。

(回答) 承知した。

(3) その他

特になし

6 主な意見

- ・競争性のない随意契約に対してより実効的に対応するためには、現状について詳細な分析を行う必要がある。改めて現状を詳細に分析するとともに、その結果について令和3年度調達等合理化計画の「調達の現状と要因の分析」に記載すること。
- ・委員会の資料に一者応札への対応として行った取組や今後の対応策について記載すること。
- ・「ハイパフォーマンススポーツセンター医療用及び研究用ガスの供給」及び「ハイパフォーマンススポーツセンター 水処理薬剤の購入(単価契約)」については消耗品の調達であり、一般的に考えて複数者応札が可能と思われる。一者応札が続いている理由について説明できるよう、原因を分析すること。
- ・「令和3年度役職員等の健康診断業務及び産業医業務の委託」について、履行場所ごとに調達を分割することを検討すること。
- ・過年度においては複数者応札があった「外国雑誌の購入」及び「衛生材料（医科）の購入」について、一者応札となった原因を分析の上、次回の調達の際は公告期間を長くするなど、一者応札を改善するための取組を行うこと。